

恵比寿ガーデンプレイスの

eecoな取り組み

地下にひろがる

みなさんは、目黒区と渋谷区にまたがる恵比寿ガーデンプレイスに行ったらどこがありますか？ デパートやホテル、オフィスの入ったタワー、マンション、エビスビール記念館。そしてネオロ専用シアターの入った建物まである広い恵比寿ガーデンプレイス。そのすべての建物の冷暖房やゴミの処理を、なんと地下にある1カ所で行われていると聞き、秘密の地下施設を訪ねました。

地下施設のひみつ その①

クリーンな都市ガスを使って 電気・温水・冷水をつくる。



▲東日本大震災以降、節電などに対する多くの人の意識が変わり、以前に比べエアコンの使用量が減ったので、真夏の暑い日でも閉じたままのバルブが増えたそうです。ここから全ての施設に空気が送り出されています。



▲電動式ターボ冷凍機。水よりも冷たい蒸気を電気力で高温高压にする。次に冷やして液体にする。これが気体になるときの気化熱を使って常温の水を冷たい水にする。写真の機械 TR-8 は、東日本大震災の直前に搬入された。

恵比寿ガーデンプレイスタワーに到着、これから普段は入ることのできない地下に向かいます。



▲中央監視室。つくり出されたエネルギーの量や温度が最適かどうか、ここで24時間365日、人が見張っているそうです。



ボイラーの燃焼具合をモニターでチェックしています。(渡辺さん)

地下施設は、冬に部屋を暖めると窓ガラスが曇り水滴がでたり、夏に打ち水をするように涼しくなるのと同じ、気体→液体→気体になる化学変化を大規模に上手に利用したecoなシステムでした。



風がすごかったです。(パロウ)



▲初めて見る巨大な設備にみんな興味津々。

地下施設のひみつ その②

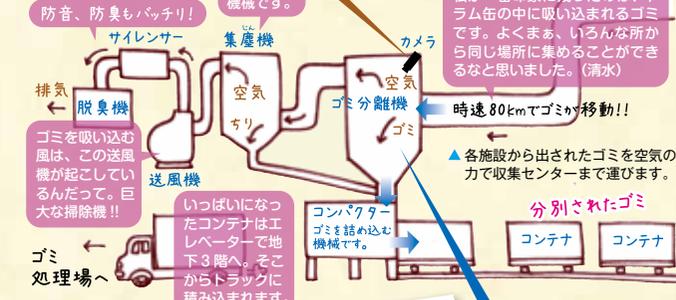
地上をゴミ収集車が走らない美観対策、ゴミは空気の流れで運びます。



パイプ内のゴミの移送状況は常時、モニターでチェックしています。(布施さん)



▲ゴミの収集設備のしくみをわかりやすく説明してくれた、恵比寿ガーデンプレイス廃棄物処理センター副所長の布施さん。



▲集めたゴミを分別して、積み込みます。青いコンテナに詰められたゴミは、渋谷区のゴミ処理場に運ばれていきます。



▲巨大なゴミ分離器が空気からゴミを分けてコンベアで落とします。



▲地下の設備が青色ばかりで、印象的でした。(高橋彩)



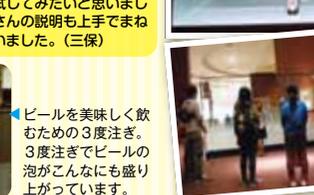
みんなで記念撮影!



▲エビスビールの歴史について説明してもらいました。



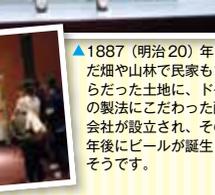
▲ビールを美味しく飲むための3度注ぎ。3度注ぎでビールの泡がこんなに盛り上がっています。



▲1887(明治20)年、まだ畑や山林で民家もまばらだった土地に、ドイツの製法にこだわった醸造会社が設立され、その3年後にビールが誕生したそうです。



▲エビスビールの歴史は長い、深いのだと思いました。(清水)

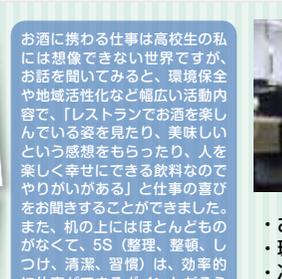


▲山手線に恵比寿駅があるのをみんな知っていると思いますが、その恵比寿の地名はエビスビールの工場があったことからその名前が付いたそうです。エビスビールの歴史を知ることのできる記念館も見学しました。

エビスビール記念館を見学!!



▲午前中の地下施設の取材を終えて、みんなでお昼をいただきました。見晴らし最高!



お昼、おいしかったです!!! (潮川)



▲お酒に携わる仕事は高校生の私には想像できない世界ですが、お話を聞いてみると、環境安全や地域活性化など幅広い活動内容で、「レストランでお酒を楽しんでいる姿を見たり、美味しいという感想をもらったり、人を楽しく幸せにできる飲料なのでやりがいがある」と仕事の喜びをお聞きすることができました。また、机の上にはほとんどのものがなくて、5S(整理、整頓、しつけ、清潔、習慣)、は、効率的に仕事ができるポイントだそうで、なるほどと思いました。(堀江)

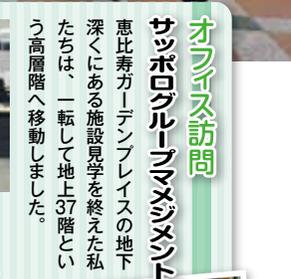


整理整頓されたきれいなオフィス

CSR活動って何?

- ・お酒に関する事件事故防止
- ・環境の保全活動
- ・次世代の育成(災害支援など)
- ・目黒区など地域活性化

※CSR: コーポレート・ソーシャル・レスポンス
ビリティ(企業の社会的責任)



オフィス訪問

サッポログループ・マネジメント株式会社
サッポログループCSR部 CSR社会環境グループの小川克人さんと高橋知美さん。写真は、8月3日(土)の雑誌作りガイダンスで取材対象になっていただいたときの様子。